

イオンビーム分析研究会の開催

若狭湾エネルギー研究センターでは、当センターに設置されたイオンビーム加速器を用い、植物に含まれる微量金属分布からリチウム電池のリチウムイオン動態まで、県内外の多くの大学や研究機関などと連携し、様々な分析を行っています。

今回、イオンビーム分析法のより幅広い分野での活用と社会への貢献を目指して、当センターを利用している研究者・学生が集まり、「イオンビーム分析研究会」を令和2年2月28日にエネ研で開催しました。

当日は、座長に京都府立大学生命環境科学研究科の安田准教授、京都大学複合原子力科学研究所の木野村教授、名城大学理工学部の土屋教授を迎え、多くの研究者や学生が様々な分野の研究成果を発表しました。

エネ研からは鈴木主査研究員が、「イオンビームによる大気中での定量分析手法の開発」、岩瀬所長が、「照射誘起析出現象のRBS「その場」測定」について報告しました。

また、研究会には県外から多くの研究者・学生が参加されたので、新たな試みとして敦賀市観光課の方から参加者に敦賀市の観光PRを行っていただきました。

参加者からは「研究発表はとても参考になった。また、敦賀にはエネ研との研究のため何度も来ているが、観光名所やグルメなど初めて知ったことも多く、ますます敦賀が好きになった。」と好評でした。

今後とも、エネ研は敦賀市、観光協会、商工会議所他と連携し、地元貢献を目指した色々な取り組みを行っていく予定です。



エネ研小林専務の挨拶



発表の様子(エネ研)
鈴木主査研究員



発表の様子(エネ研)
岩瀬所長



招待講演(京都府立大学)
春山洋一氏



発表の様子(福井大学)
玉川教授



観光PR
敦賀市観光課

敦賀美方消防組合と「連携・協力」に関する覚書を締結

若狭湾エネルギー研究センターでは、高度な科学機器や加速器、研究員の専門知識や技術ノウハウ等を活かし、企業等の課題解決を幅広くサポートしており、これまでも、敦賀美方消防組合が行う火災等の原因究明のため、科学機器の操作指導や分析結果についての助言等を行ってきました。

今回、敦賀美方消防組合とエネ研は、益々複雑多様化する火災や特異災害などに対し、更なる連携強化を図るため、令和2年3月12日に「消防研究に関する連携・協力」の覚書を締結しました。

調印式では、消防組合の岡消防長とエネ研の石塚理事長が出席し、一層の連携・協力を確認しました。

エネ研には50種類以上の高度な科学機器が設置されており、低料金でご利用いただけます。また、操作方法の相談やサポートも行っていますので、これらの科学機器を活用し、研究開発・品質管理における様々な技術的課題、トラブル等の解決にお役立てください。



調印式の様子

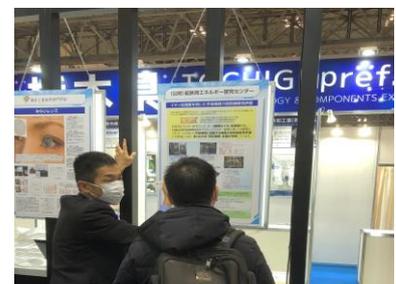
お問い合わせ:企画支援広報部 (TEL:0770-24-7273)

航空・宇宙機器開発展に出展

若狭湾エネルギー研究センターの加速器は、衛星などの宇宙機に搭載する電子機器が宇宙空間で受ける放射線の影響を調べるのに大変適しています。今回、令和2年2月26日(水)～28日(金)まで幕張メッセで開催された「航空・宇宙機器開発展」に出展し、エネ研の加速器についてPRを行いました。

エネ研を含む「ふくい産業支援センター」のブースには多くの方が訪れ、福井県が取り組んでいる超小型衛星の開発への関心の高さが伺えました。また、宇宙機器関連の企業数社がエネ研の加速器について関心を示し、具体的な説明も行いました。

今後、エネ研は宇宙分野の研究開発に一層の力を入れ、宇宙産業の振興に貢献していきます。



幕張メッセでの様子

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便: 〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail: kikakushien@werc.or.jp TEL: 0770-24-7270 FAX: 0770-24-7275

